

商品名 イフェンプロジル酒石酸塩錠10mg「あすか」 添付文書情報

一般名	イフェンプロジル酒石酸塩10mg錠	薬価	5.90
規格	10mg 1錠	区分	
製造メーカー	あすか製薬	販売メーカー	あすか製薬 武田薬品
薬効	2. 個々の器官系用医薬品 21. 循環器官用薬 219. その他の循環器官用薬 2190. その他の循環器官用薬		

イフェンプロジル酒石酸塩錠10mg「あすか」の用法・用量

通常成人には、1回2錠（イフェンプロジル酒石酸塩として20mg）を1日3回毎食後経口投与する。

【用法及び用量に関連する注意】

本剤の投与期間は、臨床効果及び副作用の程度を考慮しながら慎重に決定するが、投与12週で効果が認められない場合には投与を中止すること。

イフェンプロジル酒石酸塩錠10mg「あすか」の効能・効果

脳梗塞後遺症、脳出血後遺症に伴うめまいの改善。

イフェンプロジル酒石酸塩錠10mg「あすか」の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

2. その他の副作用：

- [1] 消化器：（0.1～5%未満）口渇、悪心・嘔吐、食欲不振、胸やけ、下痢、便秘、口内炎、腹痛。
- [2] 精神神経系：（0.1～5%未満）頭痛、めまい、ねむけ、（頻度不明）不眠。
- [3] 過敏症：（0.1～5%未満）発疹、皮膚そう痒感。
- [4] 循環器：（0.1～5%未満）動悸、立ちくらみ、頻脈、顔面潮紅、のぼせ感。
- [5] 肝臓：（0.1～5%未満）AST上昇・ALT上昇。
- [6] 血液：（0.1～5%未満）貧血。
- [7] その他：（0.1～5%未満）顔面浮腫、上肢のしびれ感・下肢のしびれ感。

イフェンプロジル酒石酸塩錠10mg「あすか」の使用上の注意

【禁忌】

頭蓋内出血発作後止血が完成していないと考えられる患者。

【合併症・既往歴等のある患者】

1. 脳梗塞発作直後の患者：脳内盗血現象を起こすおそれがある。
2. 低血圧のある患者：血圧低下を増強するおそれがある。
3. 心悸亢進のある患者：心機能を亢進させるおそれがある。

【妊婦】

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないことが望ましい。

【授乳婦】

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

【高齢者】

減量するなど注意すること（一般に生理機能が低下している）。

【相互作用】

2. 併用注意：

- [1] 出血傾向をきたすと考えられる薬剤〔出血傾向が増強されるおそれがある（本剤の血小板粘着能・凝集能抑制作用による）〕。
- [2] ドロキシドパ〔ドロキシドパの作用を減弱するおそれがある（本剤の $\alpha 1$ 受容体遮断作用による）〕。

【適用上の注意】

1. 薬剤交付時の注意：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること（PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することがある）。

【保管上の注意】

室温保存。



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

